

押しに弱い

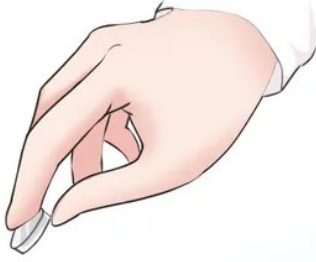
香織さん



古川書店

いやー
お客さんまったく
来なくて暇だったから

はい お釣り
いつも
ありがとね



いえ…
ごちらこそ

智哉くんが
来てくれて
嬉しいわ

あはは…

香織さんの
お役に立てたなら
幸いです



あら
嬉しい事
言ってくれるわね

じゃあ 今日も

私の話相手に
なってくれる?

もちろんです!!



随分と
食い気味な

返事ね



あっ

いや

そのっ





智哉くん
ちゃん

私の事
好きでしょ



なんで
知って...

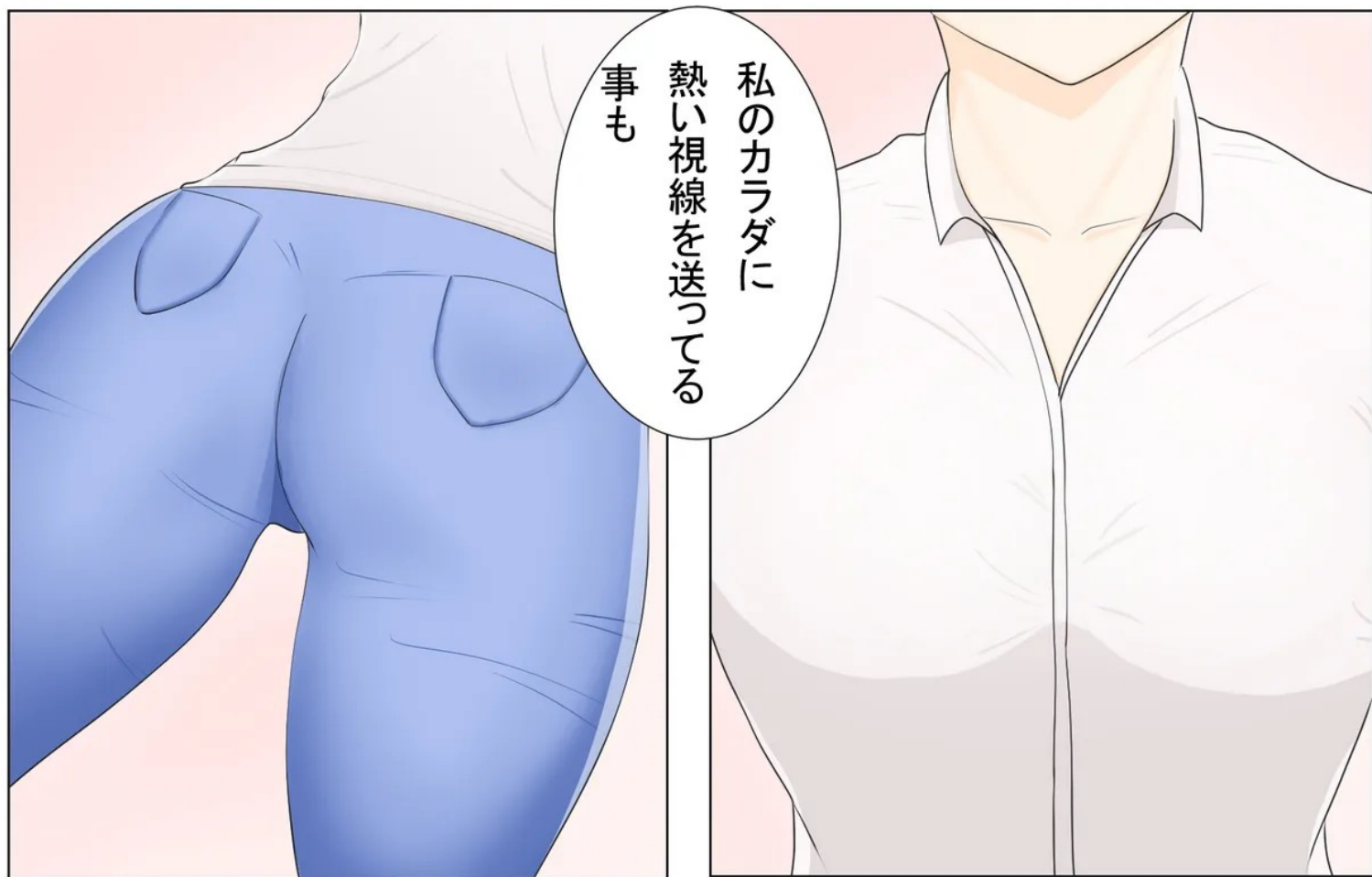




あんな露骨に

好意を向けられたら
誰でも分かるよ

それと…



私のカラダに
熱い視線を送ってる
事も



もちろん
気づいてるよ

うっ…

僕に

ん？

あのっ！

チャンスはありますか？！

うん

智哉くんはちょっと
攻めっ気が足りないと言っ
るか…

ちよつと
からかおっかな

なんか
物足りないんだよね

まっ

私に意識して

もらいたかったら
少しは男らしさを

見せてごらん
そしたら考えてあげる

二二二で

男らしさを

見せれば

ゴクッ

チャンスは

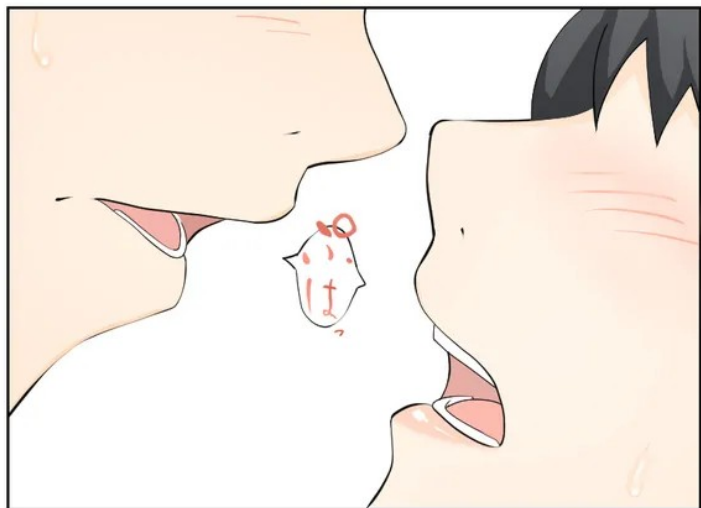
まだある！

ど、どうしたの
智哉君…

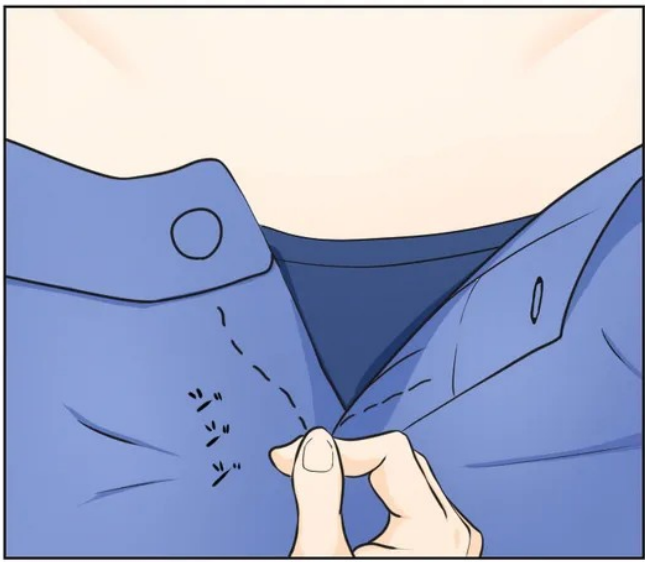
だったら！

香織さんっ!!!

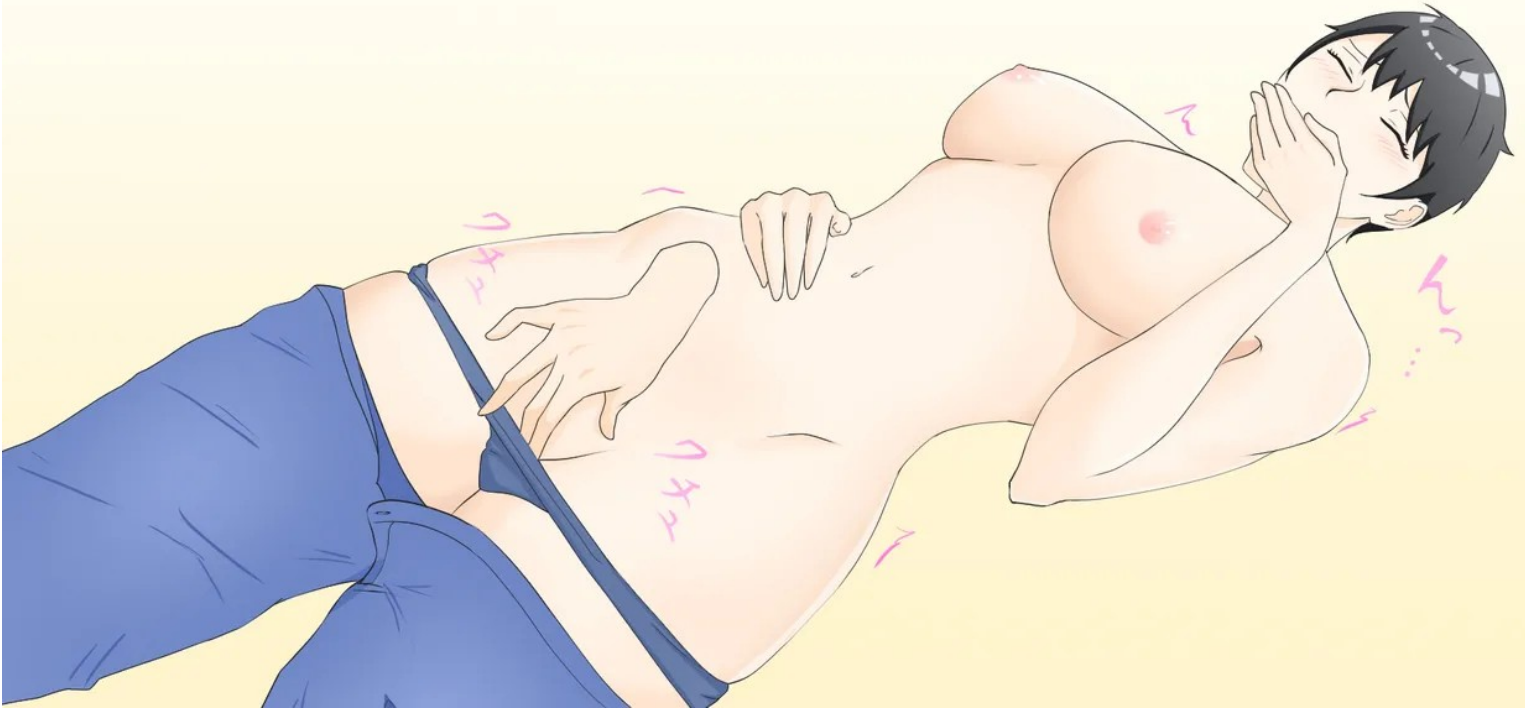
!?!





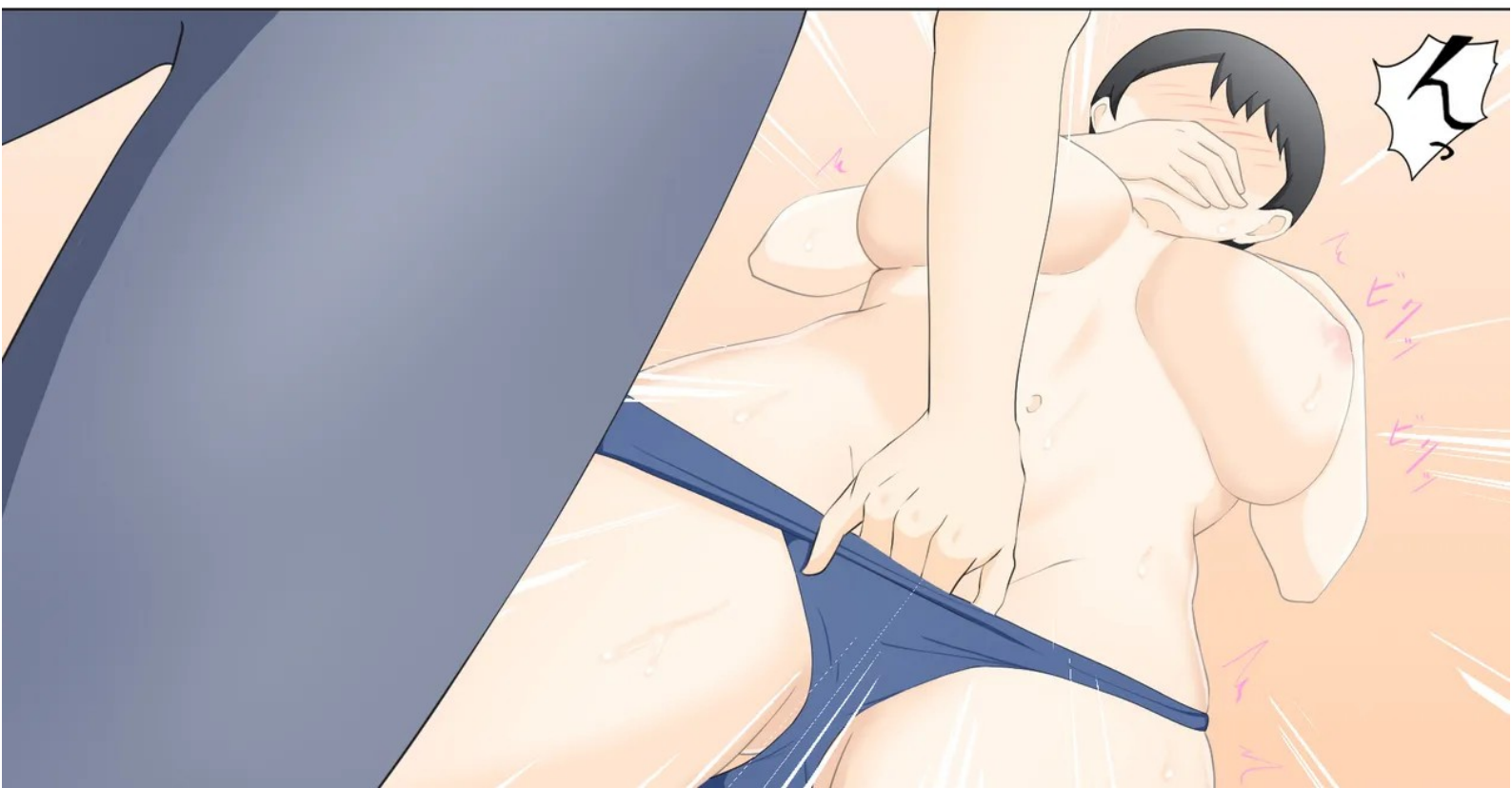


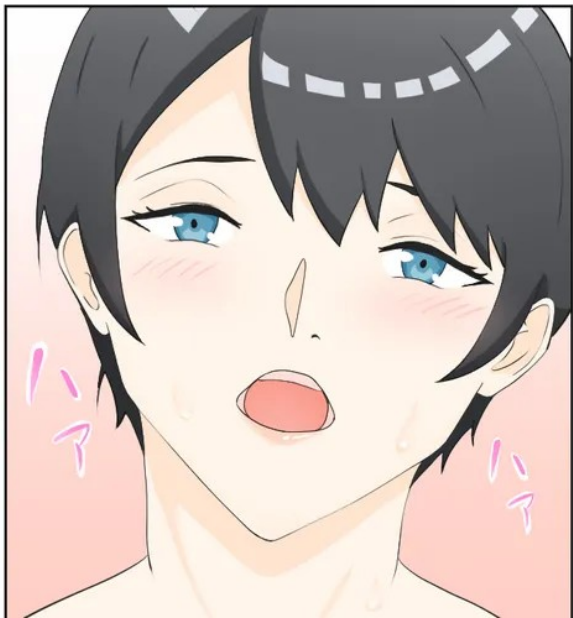
少しからかっただけなのに
まさかこんな事になるなんて…



香織さんの「口」
凄く濡れてますね

そんなこと...
...言わなくていい





誠に勝手ながら、本日は

臨時休業

とさせていただきます。

古川書店

あそこまでしておいて

あの…
…本当に
いいんですか？

今更そんな事
言わないでよ…

うぐっ…

さっきはその
暴走してたというか…

さっきはちょっと
男らしかったん
だけどなー

だったら
もう一回

見せてくれる？





香織さんっ!!!

ポッポッ
ポッ

あゝ



全部入ったね...



凄いキツイ!!!
入れたばかりなのに
もう...

ッ



香織さんっ！

んっ
智哉君の
やりたいように
やっていいからね…



ごめんなさい
上手く加減
できなくて…

んっのよ



おいで ♡



